

YOKKAICHI 四日市

Map of Natural Disaster(Earthquake Disaster)

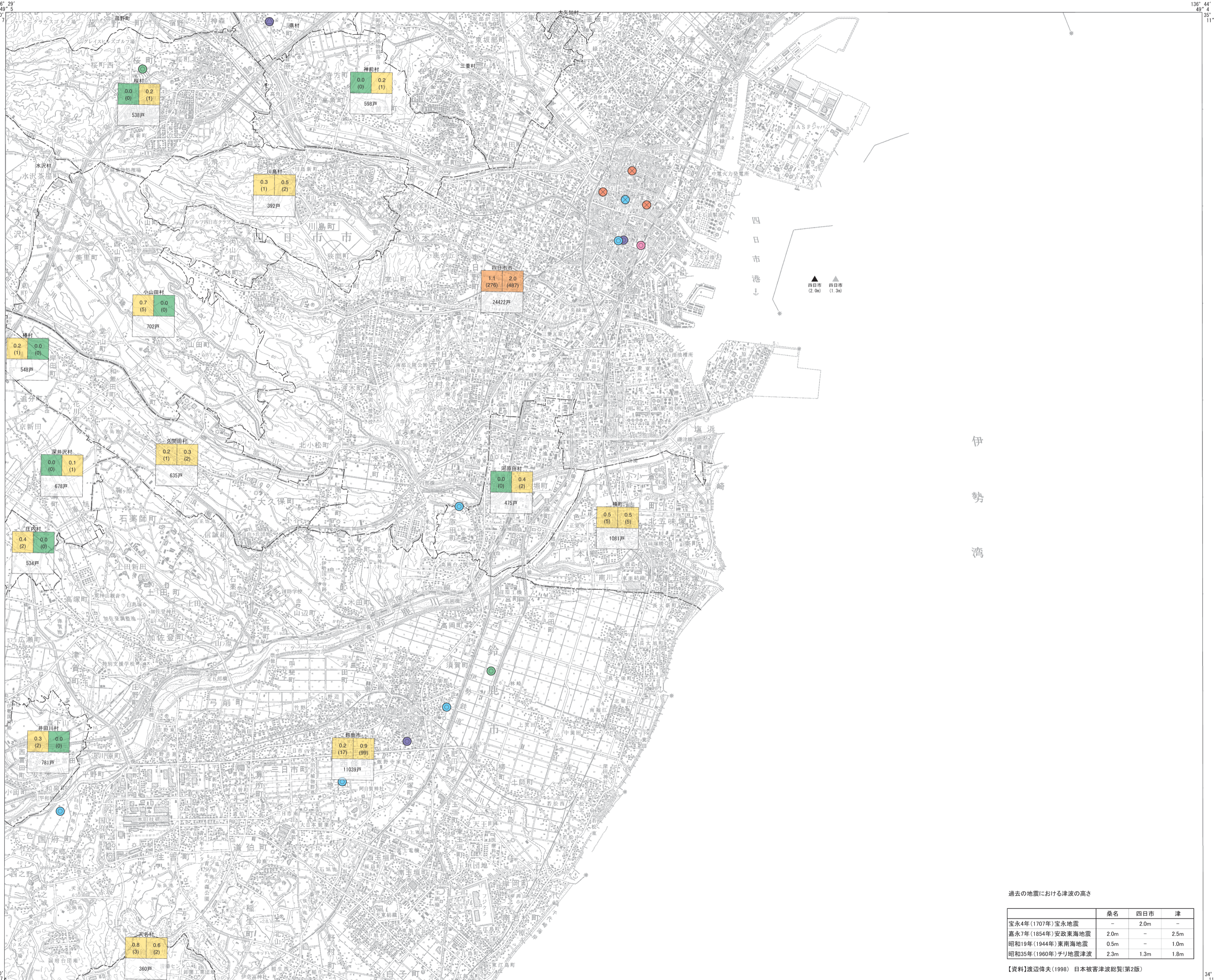
災害履歴図[地震災害]

1 : 50,000 地形図
よっかいち

土地分類基本調査図(土地履歴調査図)

平成二十四年度調査

平成二十五年三月発行 国土交通省国土政策局



凡例

1. 昭和19(1944)年東南海地震における建物被害

①全壊率(全壊数)
※全壊率=全壊数/全戸数×100

②半壊率(半壊数)
※半壊率=半壊数/全戸数×100

四日市市
24422戸

	①全壊率	②半壊率
	10%以上	
	5 - 10%	
	1 - 5%	
	0 - 1%	
	0%	

③全戸数

【資料】
昭和19年12月7日東南海地震の震害と震度分布。
飯田波事 1985 東海地方地震・津波災害誌 (飯田波事教授論文選集)

【注】
本図には、災害発生当時の市町村名を表示している。図中で、市町村名のみを記載した市町村は、資料中に被害報告の記載はないものの、実際には被害が生じていた可能性がある。なお、本図に表示した市区町村界は、災害発生時期に近い年代の状況を既存資料により参考表示したものであり、災害発生当時の市区町村とは一致しない場合がある。

2. 液状化地点

I. 文政2(1819)年地震
● 番地や集落内の小字名など、地点に近い情報で特定される地点

II. 嘉永7(1854)年地震
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点
● 集落名や町丁目など、地区名で特定される地点

III. 嘉永7(1854)年安政東海地震
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点

IV. 嘉永7(1854)年安政南海地震
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点

V. 明治24(1891)年濃尾地震
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点
● 番地や集落内の小字名など、地点に近い情報で特定される地点

VI. 昭和19(1944)年東南海地震
● 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点

【資料】
若松加寿江(2011) 日本の液状化履歴マップ 745-2008 DVD-ROM付き (東京大学出版会)

(その他)
— 昭和25(1950)年の市町村界

【資料】
国土計局(2010) 国土数値情報、行政区域データ、昭和25年

3. 津波高

▲ 宝永4(1707)年宝永地震
▲ 昭和35(1960)年チリ地震津波

【資料】
渡辺偉夫(1998) 日本被害津波総覧(第2版)(東京大学出版会)

【注】
津波高は上記資料をもとにし、現在の海岸付近に表示した。

摘要

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
- 作業機関 北海道地図株式会社
- 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成21年修正
- 対応する二次メッシュコード 523624. 523625. 523634. 523635

行政区画

索引図

御在所山	桑名	名古屋南部
亀山	半田	
津西部	津東部	師崎

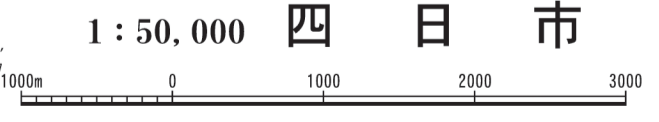
() 内は所属20万分1地勢図名

三重県
1. 四日市市 2. 鈴鹿市 3. 三重郡

過去の地震における津波の高さ

	桑名	四日市	津
宝永4年(1707年)宝永地震	-	2.0m	-
嘉永7年(1854年)安政東海地震	2.0m	-	2.5m
昭和19年(1944年)東南海地震	0.5m	-	1.0m
昭和35年(1960年)チリ地震津波	2.3m	1.3m	1.8m

【資料】渡辺偉夫(1998) 日本被害津波総覧(第2版)



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、空中写真、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第534号)」